

科目名 (科目番号)	医学概論 (111141)	教員名 篠田 俊雄	学科等	医療技術	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		木3	B209研究室	
授業概要	豊富な知識と正しい判断力を持った医療従事者となるために、医学とは何か、医学の分野、医学教育、哲学(倫理学を含む)を学ぶと同時に医学・医療の歴史とヒポクラテスの誓いなど先人の足跡について学ぶ中で、現代医療がどのようにして発展して来たかについて医療技術の進歩に伴って発展して来た現代医療の概要を習得する。すなわち我が国の医学・医療の歴史、医療の現状、医療従事者の役割と患者中心のチーム医療の重要性、医療安全と事故対策や医学研究のあり方などについて学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医学とは何か、医療とは何か	医療の本質と医療に対する医学の位置付けについて理解する。				
	2	医学分野	医学には生理学、解剖学、組織学・病理学、細菌学・微生物学、分子生物学などの基礎医学分野と内科学、外科学などの臨床医学分野があるが、それぞれの分野が医療にどのように役立っているかを理解する。				
	3	医学・医療の歴史	古代の中国、エジプトやギリシャにおける医療の原始的形態から、ローマ帝国時代、中世を経て近代の医学に発展していく歴史の概要を理解する。				
	4	医の倫理	ヒポクラテスの誓い、ナイチンゲール誓詞、ジュネーブ宣言、リスボン宣言、バイオエシックスなどについて理解する。患者の権利を尊重する現代の医療を理解する。				
	5	わが国の医学・医療の歴史と現状	中国から伝来したわが国古来の漢方医学と江戸時代以降に取り入れられた西洋医学、明治以降にドイツ医学を中心にした医学・医療、第二次世界大戦後の近代医学・医療というわが国の医学・医療の歴史と現状を理解する。				
	6	患者中心の医療とチーム医療	父権主義の医療から患者中心の医療への変遷と、現代医療におけるチーム医療の重要性を理解する。				
	7	医療安全と事故対策	医療法における安全管理体制と医療事故対策を具体的に知る。				
	8	医学研究のあり方	ヘルシンキ宣言、先端医療における倫理問題など医学研究のあり方を理解する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	新体系看護学全書 現代医療論		小坂樹徳、田村京子		メヂカルフレンド社		
参考図書	医学の歴史		梶田 昭		講談社学術文庫		
教員からのメッセージ	教科書で予習し、配布資料のポイントを中心に復習することにより学習効率が向上します。						